

第3回西日本スキー技術選手権大会参加要項

【主 催】 S.A.J. 西日本ブロック協議会

【後援】 西日本スキー指導員会

【主 管】 S.A.J. 西日本ブロック協議会 教育部会

【会 期】 2020年2月1日（土）～2月2日（日）

【会 場】 広島県「芸北高原 大佐スキー場」

【現地本部】 「やまびこ」 広島県山県郡北広島町荒神原 1265-3 TEL0826-35-0578

【日 程】	2月1日(土)	8:00～8:30	受付(レストハウス2F)
		8:30～	公式トレーニング
		9:00～	TCミーティング
		10:00～	開会式(レストハウス2F)
		10:45～	競技開始
	2月2日(日)	9:45～	競技開始
16:00～		閉会式・成績発表	

※ 詳細は現地にて発表

【競技種目】 ■予選 1. 総合斜面・総合滑降 2. 中急斜面・ナチュラル・小回り
3. 急斜面・ナチュラル・大回り
■決勝 4. 急斜面・不整地・小回り
※決勝出場選手数は、TC ミーティングで発表する。

【部 門】	レギュラーの部	満 18 歳以上、年齢制限なし（2019 年 4 月 1 日現在）
	ジュニアの部①	満 10 歳以上 12 歳未満（2019 年 4 月 1 日現在）
	ジュニアの部②	満 12 歳以上 15 歳未満（2019 年 4 月 1 日現在）
	ジュニアの部③	満 15 歳以上 18 歳未満（2019 年 4 月 1 日現在）
	シニアの部	満 50 歳以上（2019 年 4 月 1 日現在）
※全日本スキー技術選手権大会出場希望者はレギュラーの部に申込みこと。		

【参加資格】

- 1 当該年度の SAJ 会員登録を行なっている者。
- 2 「SAJ スキー補償制度」及び、スポーツ傷害保険、又はこれに準ずる傷害保険に加入済みの者。
- 3 1 級以上の認定を受けており、加盟団体長の推薦を受けた者。
- 4 部の併用申し込みは認めない。

- 【順位の決定】
- 1 各種目の採点は、5 審 3 採用とする。
 - 2 総合成績の順位は、全種目の合計得点により決定する。
- 【表 彰】
- 1 総合成績により、レギュラー部は、男 10 位、女子 6 位まで、その他の部は、男子 6 位、女子 3 位までを表彰する。
 - 2 種目別は男女とも 1 位までを表彰する
- 【申込・問合先】
- 〒690-0883 島根県松江市北田町 49-28 教育部強化委員会 富田 弘行
E-mail: tom@snow.megaegg.ne.jp
※ 参加申込書は島根県スキー連盟のHPからダウンロードしてください。
※ 参加者が 18 歳未満の場合は、必ず保護者の承諾を得て、申込書の保護者承諾欄に記名捺印をすること。
- 【申込締切】
- 2020 年 1 月 11 日（土）必着
- 【参 加 料】
- レギュラーの部、シニアの部 6, 000 円
ジュニアの部 3, 000 円
- 【そ の 他】
- 1 積雪等の状況により、競技種目を変更することもある。
 - 2 S A J 公式用品を使用のこと。
 - 3 万一競技中事故が発生した場合においても、応急処置は行うが総て本人の責任により処理する。
 - 4 第 57 回全日本スキー技術選手権大会への出場者は、本大会のレギュラーの部に出場した者をもって構成する。
 - 5 第 57 回全日本スキー技術選手権大会へのブロック枠出場者は、本大会のレギュラーの部に出場した者をもって決定する。
大会中止の場合は、第 2 回西日本スキー技術選手権大会の成績により決定する。
 - 6 第 57 回全日本スキー技術選手権大会へする選手は大会参加助成を受けることができる（ブロック出場者、補欠参加者は除く）。

競 技 規 則

西日本スキー技術選手権大会 競技規則

- 1 競技者は種目別スタート地点に集合し、スタート審判のコールを受け応答しなければならない。大会運営上、20人～30人集合しだい随時コールを開始する。
- 2 競技者は前者の出発後、直ちにスタート地点に立ち出発のための準備をしなければならない。
- 3 競技者はスタート審判の合図により出発しなければならない。スタート合図はフラッグで行い、視界の悪いときはトランシーバーを利用する。
直ちに出发しない場合は該当種目を棄権とする。
- 4 競技コースの終点には停止ゾーンを設ける。ゾーンは4本のポールにより設定し、その区切りは色インク等により明示する。
- 5 競技は示された停止ゾーン内で安全のために停止するものとする。ゴールは、両足スキーで終了する。
- 6 競技中止について。大転倒等で中止するときは、ストック等の×印で連絡する。
- 7 ヘルメットは安全上必ず着用する。ウェアは、ワンピースは禁止する。その他、公式用具を使用する事。
- 8 競技種目が必要とする斜面については、その条件を満たせる設定を行う。
- 9 競技各種目は、設定された条件や状況に適合した回転弧、スピードで行う。
- 10 審判は5審3採用によって行う。
- 11 競技斜面のインスペクション・整備については競技本部の指示に従い行う。
選手・監督・コーチのみとする。ビブ・証明書を着用の事。
- 12 抗議は、監督・コーチ・当該選手本人としゴール後ただちに審判長に申し出ること。
監督1名・コーチ3名以内とし、受付時に届け出をして監督・コーチ証を受け取り、大会期間中着用する。
- 13 競技会場の積雪状況により競技コート・種目変更の可能性も有り得る。